

「松江市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画（案）」に対する
パブリックコメント（意見募集）の結果及び意見に対する市の考え方について

1. 意見募集の結果について

募集期間	令和2年11月26日（木）～12月25日（金）
資料公開場所	本庁・支所行政資料コーナー、市ホームページ
意見総数	4件

2. 意見の概要と市の考え方

No	頁数	項目	いただいたご意見の概要	市の考え方
1	30 44 54 56	「自助」「共助」 「公助」について	<p>「自助」「共助」「公助」：既に地域包括ケアにおいて、その概念を今実施しているところですが、少子高齢化という根本的な社会構造もあり難しい課題です。</p> <p>①「自助」…誰しも健康で自分の意思で日常生活を送りたいものです。生活習慣の改善啓蒙活動や健康意識の向上など「共助」にも繋がりますが、啓蒙と意識向上への“関わり方／切り口”がポイントだと思います。</p> <p>②「共助」…高齢化、自治会加入率低下、過疎化に加え今のコロナ禍で地域力：関わる頻度が薄くなってい</p>	<p>団塊世代全てが75歳以上となる2025（令和7）年や団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040（令和22）年に向け、高齢者世帯の増加や社会構造の変化、給付と負担のバランス等も勘案しながら、「自助」「共助（互助）」「公助」をいかに連携させていくかは、地域包括ケアシステム推進の大きな課題です。</p> <p>本計画の基本理念である「地域でともに支え合いいきいき暮らせるまちづくり」に向け、一人ひとりの「自助」である日常の生活、地域や人同士で支え合う「互助（共助）」、公的支援である「公助」を組み合わせ、それ</p>

			<p>ます。現実には空き家や独居も多く、政府が目指す地域の共助が出来るかなあと正直思っています。ましてボランティア活動に依存すると、個人の力量に大きく左右されます。持続可能な「共助」を目指す為には、資金面：基金の創設、人材面のバックアップやその仕組みが必要だと感じています。</p> <p>③「公助」…人材確保が一番の課題です。負担と給付が最大の課題ですが、昨今、サ高住が乱立し併設するヘルパー等にてますます逼迫しています。サ高住本来の役割に一端戻ってサービスの検証をした方が良いように思います（コロナ禍に乗じて囲い込みのようなどころもうかがえます）。</p>	<p>ぞれの長所を活かして補い合えるよう、ご意見を参考としながら各種施策に取り組んでまいります。</p> <p>サービス付き高齢者向け住宅については、ケアプラン点検や実施指導等を通じ、住宅部局と連携しながら適正な運営となるよう指導します。</p>
2	48	医療・介護の連携強化（在宅医療・介護連携の推進）	<p>最近の高齢者施設の利用について、昔と違って色々な制度が絡み合っなかなか分かりにくい。また特養は費用が安いが待機者が多いと聞いている。最近聞いた話で、特定施設でお世話になっているが領収書も一目瞭然で分かりやすく、費用も抑えてもらっていると聞いた。なぜこのようなシンプルな建物が増えていかないか不思議である。先を見越した考えをお持ち願いたい。</p>	<p>高齢者施設は多様化しており、特別養護老人ホーム（特養）や介護老人保健施設（老健）などの公的施設と、有料老人ホームや一部のサービス付き高齢者向け住宅などの民間施設があります。特定施設とは、指定を受けた民間施設が介護サービスを提供するものですが、入所される方の状態に合った施設選びが出来るよう、市としてわかりやすい資料を準備し、きめ細やかな相談対応に努めてまいります。</p>

3	49	医療・介護の連携強化（様々な情報共有ツールの普及・促進）	<p>最近ではコロナウイルスの影響によって介護施設もオンライン面会を実施するところが増えてきたとニュースで見ました。Wi-Fi 環境などが整った介護施設を選ぶにあたって、松江市と東京や広島の様子が違うなど感じています。I ターンを使って都会から住む方を増やしたいと聞いていますが、ご高齢の両親とともに転入されるご家庭もあるのかなと思うと、選べる介護施設が増えると良いと感じます。コロナウイルスが落ち着けば出雲空港などアクセスしやすいところがあると思います。今はオンラインで我慢しないといけないと思っています。</p>	<p>医療・介護関係者間の情報共有ツールの普及・促進を行い、在宅で暮らす高齢者を支援する専門職の業務の効率化や負担軽減を図りたいと考えています。</p> <p>ご質問いただきましたWi-Fi 環境の整備やオンライン面会などは、事業所が実施される内容となりますが、各事業所においてもコロナ禍での対応を工夫、検討されているものと考えています。</p>
4	76 77 82 86	ICT、デジタル化の推進について	<p>ICT：担当者会議等では有効だと思いますが、各社所有するアプリケーションソフトの整合性やウイルス対策、個人情報管理など解決すべき課題は沢山あります。</p> <p>介護ロボット：装着など事前準備の改善やそのメンテナンスなど新たなコスト対策も必要です。</p> <p>一方で個別機能訓練では1回/3か月程度の住環境訪問モニタリングや来年度法改正案で自宅入浴状況のモニタリングが提唱されている様ですが、少なくとも</p>	<p>ICTや介護ロボットの導入、デジタル化の推進については、そのメリットやデメリット、導入に課題となっている点等も参考としながら、必要な事業所に取り入れられるよう、介護事業所をはじめ様々な関係機関と共に普及啓発や調査研究を行ってまいります。</p> <p>各種加算制度については、介護報酬改正の状況を勘案しながら、事業所や現場の意見も踏まえ助言するなど、実効性あるものとなるよう対応してまいります。</p>

			<p>今のコロナ渦とICT活用という側面からは相反する加算要件だと感じています。</p> <p>ICTを含むデジタル化推進においては、保険者・医療・居宅・包括・利用者・介護事業者等が共有出来るアプリの開発と普及が急がれます。</p>	
--	--	--	--	--